

「県工事成績・施工実績評価換算表」の見方
(令和7・8年度県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(1))

1 対象期間

建設工事の種類	対象期間	対象年度(※)
土木一式, 舗装, 造園	5年間	令和元年度～令和5年度
建築一式, 電気, 管	10年間	平成26年度～令和5年度

※県の事業年度(4月～3月)であり, 各建設業者の決算期とは異なる。

2 工事成績の算定方法

(1) 工事成績

- ① 各年度の工事成績の平均点の合計を, 工事实績のあった年数で割った値。
- ② 1の対象期間内に「工事实績がない年度」がある場合は, 当該年度は工事成績の対象の年数には含めない。

(2) 各年度の工事成績の平均点について

- ① 同一事務所から受注した場合
 - ・工事が1件の場合…当該工事の工事成績とする
 - ・工事が複数ある場合…各工事成績の平均点を工事成績とする
- ② 複数事務所から受注した場合
 - ・各事務所ごとの工事成績の平均点を合算して算出した平均値を工事成績とする

(3) 工事成績の対象の有無

- ① 年度内に工事が完成した場合は, 当該工事の工事成績を算定する。
- ② 年度内に工事が未完成(繰越工事)の場合で,
 - ・前金払等の受取有りの場合…以下表の点数を当該工事の工事成績とする
 - ・前金払等の受取無しの場合…工事成績の対象としない
- ③ 同一年度・同一事務所内での工事において, 繰越工事や工事成績対象外の工事(500万円未満, 寄州除去, 伐採・除草のみの工事など)のみを受注した場合は, 以下表の点数を当該工事の工事成績とする。

(当該工事の年度ごとの工事成績)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
点数	78	78	78	78	81	81	81	81	83	83



当該建設業者の工事成績が決定

3 工事高について

各年度の対象となる建設工事の種類ごとの完成工事高の合計を対象期間で割った値

※ 各年度の工事代金の支払額を各年度の工事高として算定する。

- ・ 繰越工事の場合は、当該年度支払分のみを工事高として計上する。(債務負担工事を含む。)
- ・ 共同企業体(JV)の場合は、JV協定書の出資割合に応じた工事高をそれぞれ計上する。

4 点数の算定方法(例:土木一式の場合)

内が工事金額, 内が工事成績

工事名 区分	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	上段:工期, 中段:工事高(単位:千円), 下段:工事成績(単位:点)					
A工事 (令和元年度内完成工事)		25,200 75.3				
B工事 (令和2年度への繰越工事)		前金払 12,000 (※)	48,000 80.2	精算払		
C工事 (令和2年度内完成工事)			76,000 76.2			
D工事 (令和4年度内完成工事)					60,000 77.6	
E工事 (令和6年度への繰越工事)					前金払 10,000 83(※)	20,000 80.0

○ 換算表の「工事成績」の算定方法(平均工事成績)
 発注機関(県本庁, 地域振興局等)ごとに各年度ごとの工事成績の平均値を算出。複数の機関から受注している場合は合算して平均値を算出。
 同一年度・同一事務所内の工事において、繰越工事や工事成績の対象とならない工事(500万円未満の工事, 寄洲除去の工事, 伐採・除草のみの工事 他)のみの場合は78点(平成30年度~令和3年度は81点, 令和4年度以降は83点)を当該工事の工事成績とする。

- ・ 元年度 A工事でB工事が同一事務所の発注の場合は、B工事は元年度では工事成績の対象とはせず、 $75.3 \div 1 = 75.3 \approx 75$ (端数切捨)。 ※例1②参照
 両工事が別々の事務所発注の場合、B工事は工事成績81点で算出し、元年度の工事成績は $(75.3 + 81) \div 2 = 78.15 \approx 78$ (端数切捨)となる。 ※例2②参照
- ・ 2年度 B工事でC工事が同一事務所の場合、
 $(80.2 + 76.2) \div 2 = 78.2 \approx 78$ (端数切捨)。 ※例1①参照
- ・ 3年度 工事の実績がないため、工事成績の対象期間に含めない。
 (最終的に平均を算出する分母にも含めない。)
- ・ 4年度 D工事のみのため、 $77.6 \div 1 = 77.6 \approx 77$ (端数切捨)
- ・ 5年度 E工事の前金払部分は工事成績の対象とならない工事として、 $83 \div 1 = 83 \approx 83$

当該業者の工事成績 (元年度+2年度+4年度+5年度の合計: $75 + 78 + 77 + 83) \div 4 = 78.25 \approx 78$ (端数四捨五入)

○ 換算表の「工事高」の算定方法(平均工事高)
 $25,200 + 12,000 + 48,000 + 76,000 + 60,000 + 10,000 = 231,200 \div 5 = 46,240$
(端数が生じた場合は四捨五入)

※ 工事の実績がない年度は0として計算する(分母に含める)。

県工事成績・施工実績評価換算表から技術事項等評価点数を算定する。

工事高	工事成績				
	74	75	76	77	78
5,000万円以上 6,000万円未満	95	98	101	105	109
4,000万円以上 5,000万円未満	87	90	93	96	99
3,000万円以上 4,000万円未満	77	80	83	86	89

99点

○一年度における工事成績計算方法

例1：同一事務所発注の場合

①（次年度への）繰越工事なしの場合

R2年度 (単位：千円, 点)

県本庁 (〇〇課)			
工事名	工事高	工事成績	備考
B工事	48,000	80.2	R元からの繰越工事, R2年度完成
C工事	76,000	76.2	

R2年度工事成績計算
 B工事 C工事
 $(80.2 + 76.2) / 2件 = 78.2 \div 78点(端数切捨)$

②（次年度への）繰越工事ありの場合（前金払等の支払あり）

R元年度 (単位：千円, 点)

県本庁 (〇〇課)			
工事名	工事高	工事成績	備考
A工事	25,200	75.3	
B工事	12,000	-	R2への繰越工事前金払分

R元年度工事成績計算
 A工事 B工事
 $(75.3 + -) / 1件 = 75.3 \div 75点(端数切捨)$
 ※B工事は同一事務所発注のため工事成績の対象外

例2：複数事務所発注の場合

①（次年度への）繰越工事なしの場合

R2年度

（単位：千円，点）

県本庁（〇〇課）				〇〇支庁（〇〇事務所）			
工事名	工事高	工事成績	備考	工事名	工事高	工事成績	備考
B工事	48,000	80.2	R元からの繰越工事，R2完成	C工事	76,000	76.2	

R2年度工事成績計算

・県本庁（〇〇課）

B工事

$$(80.2) / 1件 = 80.2点$$

・〇〇支庁（〇〇事務所）

C工事

$$(76.2) / 1件 = 76.2点$$

$$(80.2 + 76.2) / 2 = 78.2 \div 78点(端数切捨)$$

②（次年度への）繰越工事ありの場合（前金払等の支払あり）

R元年度

（単位：千円，点）

県本庁（〇〇課）				〇〇支庁（〇〇事務所）			
工事名	工事高	工事成績	備考	工事名	工事高	工事成績	備考
A工事	25,200	75.3		B工事	12,000	—	R2への繰越工事前金払分

R元年度工事成績計算

・県本庁（〇〇課）

A工事

$$(75.3) / 1件 = 75.3点$$

・〇〇支庁（〇〇事務所）

B工事

$$(81) / 1件 = 81点$$

※B工事はA工事と別機関発注でかつ繰越工事のみのため，工事成績81点で算出

$$(75.3 + 81) / 2 = 78.15 \div 78点(端数切捨)$$

「完成工事高評価換算表」の見方
 (令和7・8年度県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(3)のア)

II 完成工事高評価換算表（令和7・8年度鹿児島県建設工事入札参加資格における総合点数の内容の2の(3)のア）

1 完成工事高評価換算表の構成

(1) 対象となる建設工事の種類

土木一式工事，建築一式工事，舗装工事，電気工事，管工事，造園工事

(2) 年間平均完成工事高

経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の「完成工事高（2年平均又は3年平均）」欄に掲げる工事高を用いる。

(3) 留意事項

土木一式工事については，とび・土工・コンクリート工事，石工事，しゅんせつ工事，解体工事を，建築一式工事については，大工工事，屋根工事を合算の上，年間平均完成工事高として計上する。

2 点数の算定方法（例：土木一式工事の場合）

経営規模等評価結果通知書
 総合評定値通知書

許可区分	建設工事の種類	総合評定値 (P)	完成工事高	
			〇年平均	評点 (X1)
特	010 土木一式	〇〇〇	420,000	〇〇〇
	011 プレストレストコンクリート	〇〇〇	155,500	〇〇〇
般	020 建築一式	〇〇〇	35,000	〇〇〇
特	050 とび・土工・コンクリート	〇〇〇	67,500	〇〇〇
	011 法面処理	〇〇〇	0	〇〇〇
特	060 石	〇〇〇	3,050	〇〇〇
特	140 しゅんせつ	〇〇〇	0	〇〇〇
特	290 解体	〇〇〇	0	〇〇〇

○ 換算表の「年間平均完成工事高」の算定方法
 土木一式+とび・土工・コンクリート+石+しゅんせつ
 $=420,000+67,500+3,050+0+0=490,550$

完成工事高評価換算表から技術事項等評価点数を算定する。

年間平均完成工事高	点数
5億円以上 6億円未満	73
4億円以上 5億円未満	69
3億円以上 4億円未満	66

69点